

赤磐市の農業用ため池の状況

○届出状況

農業用ため池の数	うち防災重点農業用ため池の数	ため池管理保全法に基づく届出数
688	330	27 (100%)

○ため池の管理・保全に係る取組

- ・ 赤磐市の農業用水は、市内を流れている旭川水系、吉井川水系及び市内に点在している688個のため池によりそのほとんどがまかなわれている。
- ・ ため池の所有者は赤磐市であり、維持管理（草刈り・水位調整）は地元で実施。
- ・ 大雨時には、岩田大池について低水位管理を実施。
- ・ 低水位管理に当たり農業用水の受益者と調整を行い、農業に支障とならない水位を経験則から決定。その結果、農業用水が大量に必要となる代掻き前は洪水吐きから約0.6m、それから後のかんがい期は約1m下げた水位で管理することになり、その高さに上下2門の排水樋門を設置し、状況に応じた低水位管理を行っている。

○ハザードマップの作成・公表状況

- ・ 133池の防災重点農業用ため池でハザードマップを作成し、各地区の集会所に掲示するとともに各戸に配布。

○多面的機能の発揮状況

- ・ 赤磐市では、旭川水系流域治水プロジェクトの取組として、田んぼダム^{いわたおおいけ}の取組（47.7ha（R5現在））や、農業用ため池（岩田大池）の低水管理及び事前放流を実施。
- ・ 岩田大池は、大雨時に流出量を抑制するため、洪水吐きより下に排水樋門を設置し、大雨時に常に一定量の排水をすることで雨水貯留能力を高め、下流域の浸水被害リスクを低減。（農閑期で40,000m³の調整容量）^{ひこぎおおいけ}
- ・ 日古木大池では、毎年水神祭を行っており、市長、水利組合長、区の役員等が参加し、豊作を祈念。^{みんじゅんいけ}
- ・ 民潤池では、消防団の一斉放水訓練を実施。



ため池管理の活動状況（穂崎地区 中次戸池）¹



消防団の一斉放水訓練の様子

同一ため池（岡山県赤磐市）

ため池の概要

名称：岩田大池（赤磐市河本）

①諸元

- ・堤高：9.5m
- ・堤長：143m
- ・総貯水量：62千m³

②管理形態

- ・所有者：赤磐市
- ・管理者：赤磐市
- ・維持管理者：河本区、長尾区

③事業実施履歴

- ・H6単県事業にて一部改修済

名称：岩田大池（赤磐市岩田）

①諸元

- ・堤高：10.2m
- ・堤長：169m
- ・総貯水量：168千m³

②管理形態

- ・所有者：赤磐市
- ・管理者：赤磐市
- ・維持管理者：岩田区、穂崎区

③事業実施履歴

- ・H10単市事業にて一部改修済

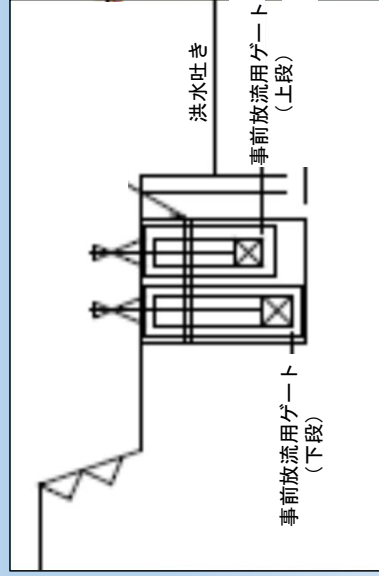
管理保全に係る取組内容

○管理体制

- ・R2年度に水位計を1台設置し、赤磐市建設課代表メール等で確認
- ・R4年度に事前放流用ゲートを設置し、大雨時に低水位管理を実施

○流域治水の取組

- ・周囲に大規模住宅団地があり、大雨時には越流堰を超え、下流の住宅にたどり及ぶ浸水被害を及ぼしていた。また、関係地区と調整し従来から低水管理を行っていたが、洪水吐きより低位置に事前放流用ゲートがないため、雨水を貯留させながら一定量を排水することができなかった。
- ・洪水吐きより低位置に異なる2門の事前放流用ゲートを設置し、かんがい期には上段のゲートを開け、大雨時にはそこから一定量の雨水を排水し水位上昇を抑制し、雨水貯留能力を高める。また台風シーズンなどの非かんがい期において、大雨が予想される場合には、受益者と協議を行い、下段のゲートを開け事前放流を行うことにより、雨水貯留能力を高める。



事前放流用ゲート図面

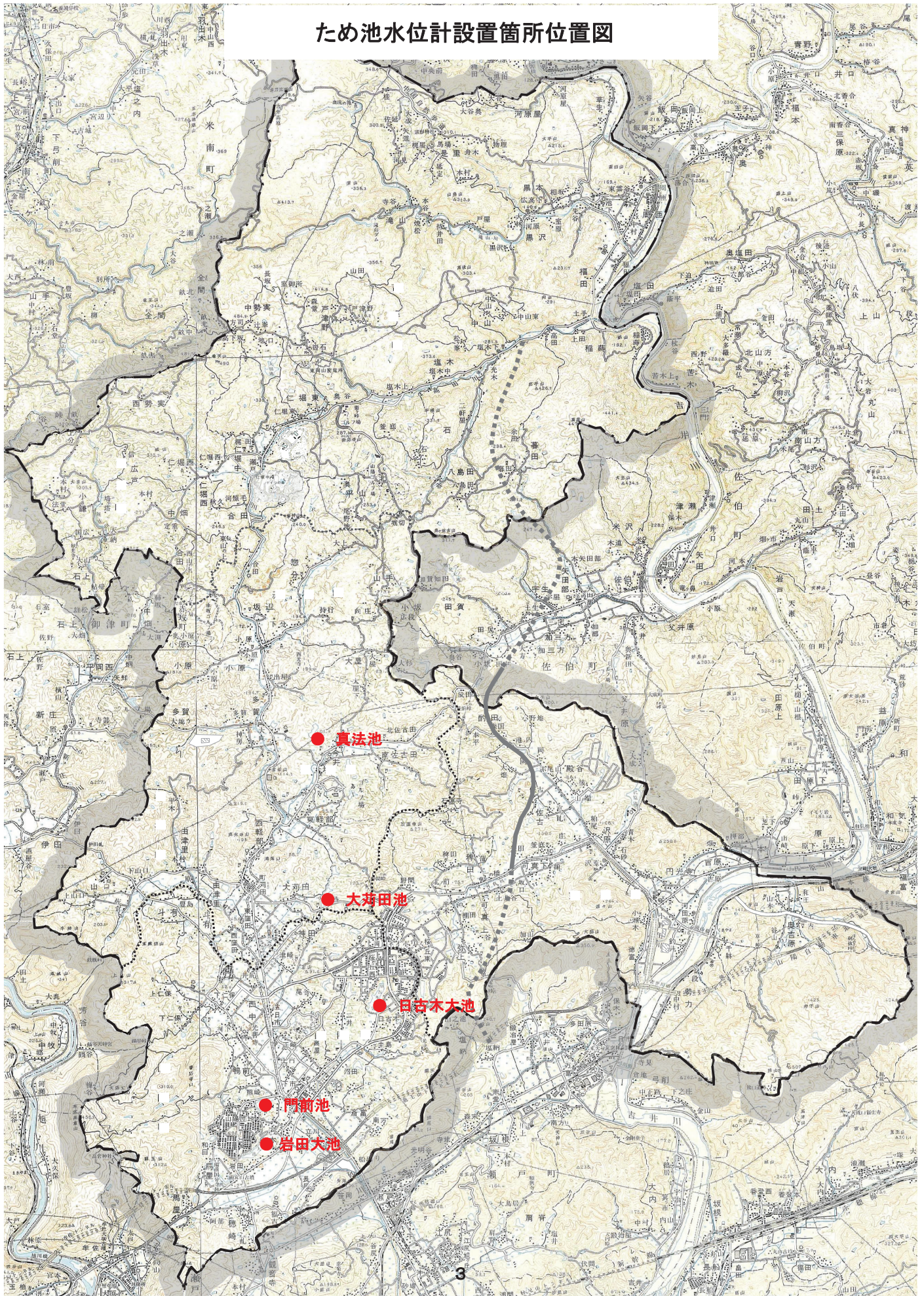


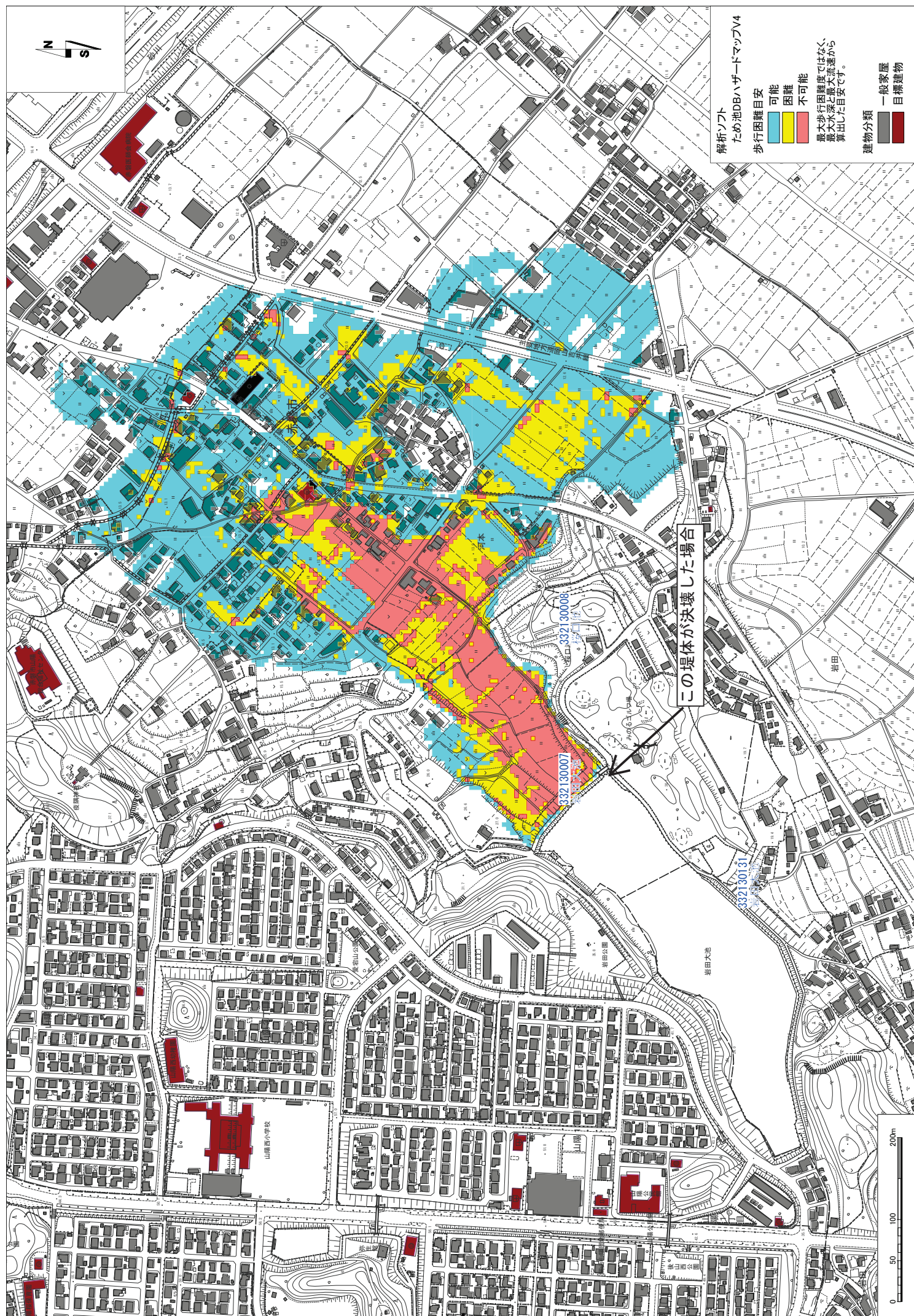
事前放流用ゲート写真

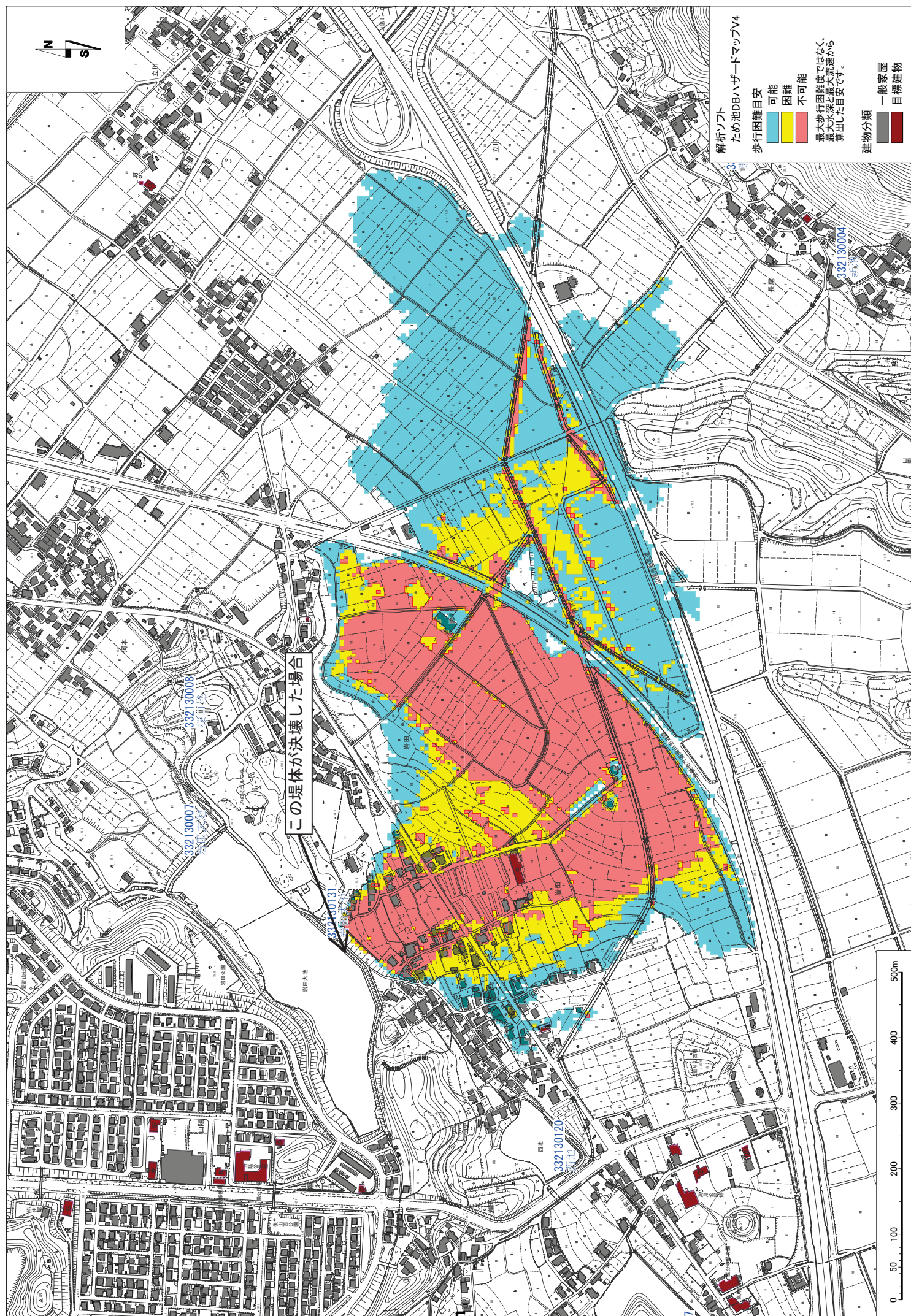
位置図・平面図



ため池水位計設置箇所位置図









田んぼダムの取組

- 大雨時の流出量を抑制するため、水田の排水口に調整板(堰板)を設置し、雨水貯留能力を高め、下流域の浸水被害リスクを低減。

※R5現在実績 斎富地区 15.7ha
穂崎地区 16.8ha
津崎地区 15.2ha
計 47.7ha

取組の経緯

- 県営基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業H30～R5)の実施に合わせて、市が主導して斎富をまもる会の活動範囲をモデル地区として、田んぼダムの取組を推進。
- R3.7月、水田7haに30枚の田んぼダム用堰板を設置。
- 斎富をまもる会では、R6年度までに23haで田んぼダムに取組予定(基盤整備面積の92%)



堰板(有り)



堰板(無し)



堰板等設置風景①



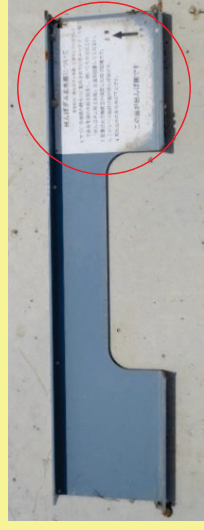
堰板等設置風景②

取組内容

- 田んぼダム用の堰板は市補助事業により無償提供。市が兵庫県の取組を参考に、地元鉄工所と相談して製作。形状:コの字型、材質:SS製(鋼材、曲がりに強い)、規格:B450mm×H100mm(排水桝の幅450mmより)、開口部B200mm×H50mm
- 通常管理は営農者、非かんがい期における堰板管理(保管)は活動組織が担当。
- 今後、斎富をまもる会をモデル地区として、基盤整備済み農地で取組を拡大し、他地域での推進を図り、防災・減災意識の向上、防災体制強化につなげる。



堰板(表面)



堰板(裏面)



設置方向を間違えないよう代表がシールを作成して添付。「この面が田んぼ側です」

農業用ため池の低水位管理及び事前放流の取組

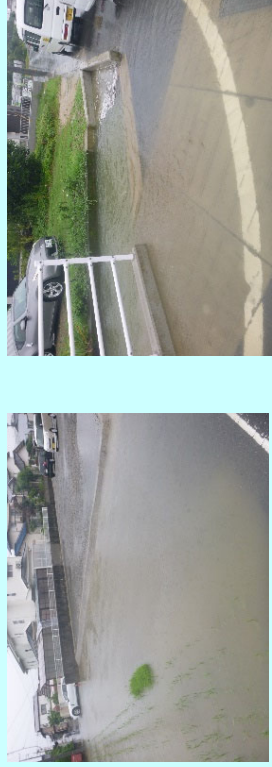
- 大雨時の流出量を抑制するため、農業用ため池の洪水吐きより下に排水樋門を設置し、大雨時に常に一定量の排水をすることで雨水貯留能力を高め、下流域の浸水被害リスクを低減。

取組の経緯

- 大規模住宅団地の下にある岩田大池は、農業用防災重点ため池であるが、大雨時には越流堰を超え、下流の住居地域にたびたび浸水被害を及ぼしている。
- 関係地区との調整により、既に低水位管理を行っているが、洪水吐きから下に排水樋門がないため、雨水を貯留させながら一定量の雨水を排水することができない。



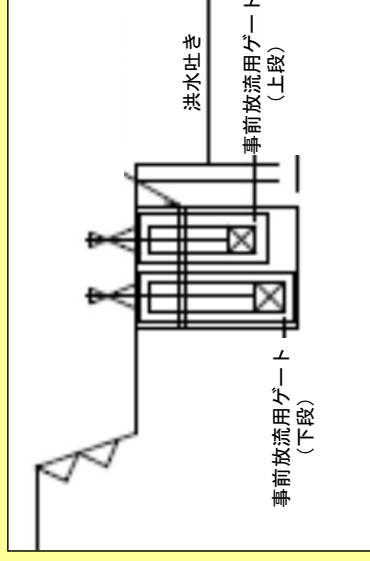
取り組み箇所



浸水状況(H30)

取組内容

- 洪水吐きを超えると下流地域が浸水するリスクが高まるため、できるだけ超えないようにする取組として、大雨時に一定量の雨水を排水することで、水位上昇を抑制し、浸水リスクの軽減を図る。
- 洪水吐きから下に2門の排水樋門を設置し、かんがい期には上段樋門を開け、大雨時にはそこから一定量の雨水を排水し、水位上昇を抑制し、雨水貯留能力を高める。また台風シーズンなどの非かんがい期において、大雨が予想される場合には、受益者と協議を行い、下段樋門を開け事前放流を行うことにより、雨水貯留能力を高める。



事前放流用ゲート図面

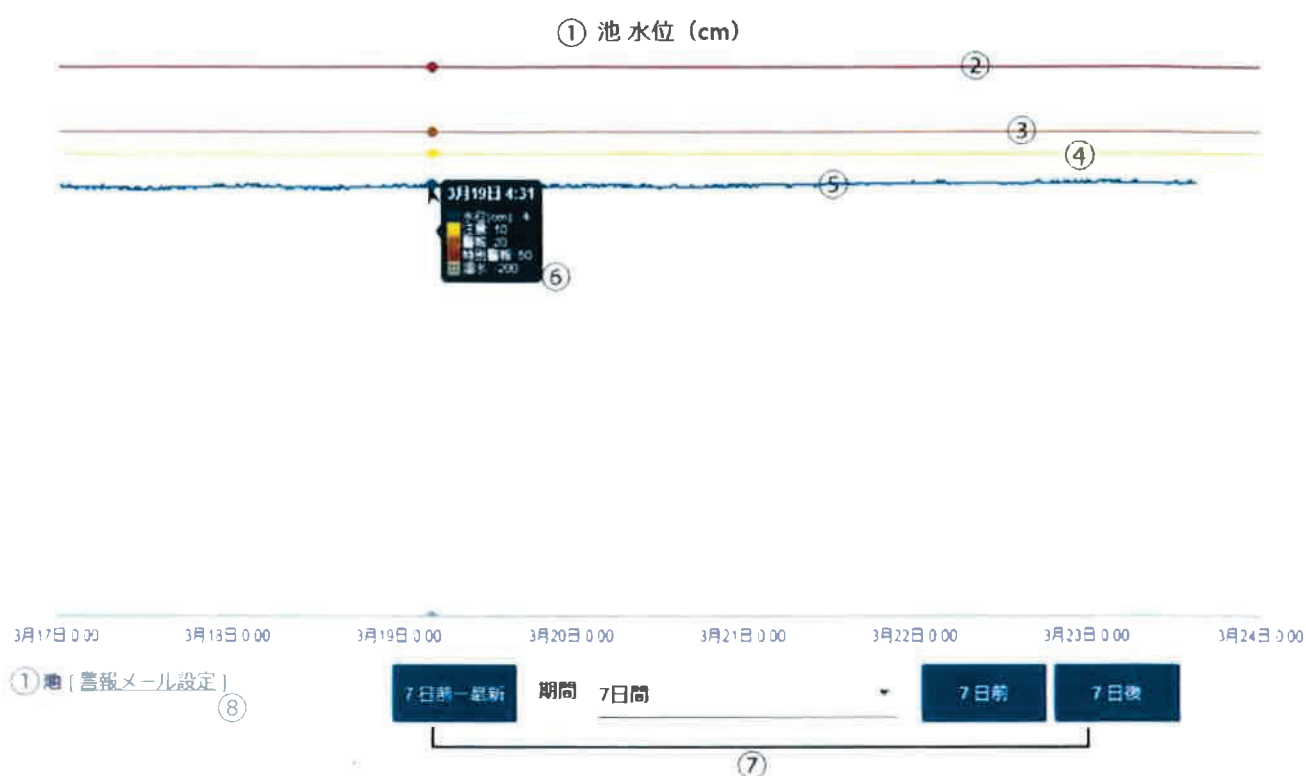


事前放流用ゲート写真

危機管理型水位計
ため池水位監視システム取扱説明書
岩田大池管理者用
ES-WL101S



エンジニアリングサービス株式会社



各番号の説明

- ① 池名称
- ② 特別警報設定水位
- ③ 警報設定水位
- ④ 注意報設定水位
- ⑤ 実測水位
- ⑥ マウスを置いた時刻の水位を表示します
- ⑦ グラフの表示期間を変更できます
- ⑧ 警報メールを受信するアドレスの追加ができます



警報メール種別内容一覧

岩田大池

注意報設定 黄色ライン 突破時

0 レベル +0cm

件名

注意報：岩田大池の水位が上昇しています。:**cm

2021 年 3 月 14 日 11:57 現在の岩田大池の水位は **cm です。
水位が上昇しています。
ご注意ください。

注意報は 36 分継続しています。
前回 11:45 より水位が 0cm 増水しています。
気温：17.8° C.

- ・ グラフ表示：http://*****
- ・ この警報メールを停止する：http://*****
(停止してから一度でも安全水位になれば、再度メールが送られます)

注意報

警報設定 オレンジ色ライン 突破時

0 レベル +60cm

件名

警報：岩田大池の水位が上昇しています。***cm

2021 年 3 月 14 日 12:57 現在の岩田大池の水位は ***cm です。
水位が *** cm以上上昇しています。
ご注意ください。

注意報は 36 分継続しています。
前回 12:45 より水位が 1cm 増水しています。
気温：19.1° C.

- ・ グラフ表示：http://*****
- ・ この警報メールを停止する：http://*****
(停止してから一度でも安全水位になれば、再度メールが送られます)

警報

特別警報設定 赤色ライン 突破時

0 レベル +100cm

件名

特別警報：岩田大池の水位が上昇しています。: ***cm

2021 年 3 月 14 日 12:57 現在の岩田大池の水位は ***cm です。
水位が ***cm 以上上昇しています。
ご注意ください。

特別警報は 12 分継続しています。
前回 12:09 より水位が 0cm 増水しています。
気温：18.9° C.

- ・ グラフ表示：http://*****
- ・ この警報メールを停止する：http://*****
(停止してから一度でも安全水位になれば、再度メールが送られます)

特別警報

岩田大池

